

第2学年 道徳学習指導案

平成26年6月17日（火）第5校時

1 主題名 強い意志 1－(2)

資料名 「心の涼風」(出典「彩の国の道徳(中学校)自分をみつめて」埼玉県教育委員会)

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする道徳的価値について

本主題は、内容項目1－(2)「より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜く強い意志をもつ。」ことをねらいとしている。人間としてよりよく生きるためには、目標や希望をもつことが大切である。日常生活の中のほんの小さな目標であっても、それが達成されたときには満足感を覚え、自信と勇気が起こるものである。このような達成感は、自己の可能性を伸ばし、人生を切り開いていく原動力となり、次のより高い目標に向かって努力する意欲を引き起こすことにもなる。このことを積み重ねる中で、人生の理想や目標を達成しようとする強い意志を育みたいと考え、本主題を設定した。

(2) 生徒の実態について

本学級の生徒は、明るく前向きな生徒が多い。男女の仲もよく、落ち着いた生活をしている。学習については、目標を立てて計画的に取り組む生徒がいる一方、勉強に対する意欲が見られなくなってきた生徒もいる。授業では、答えがあるものについては、よく手を挙げて発表する。しかし、自分の意見となるとなかなか手が挙がらない。

また、掃除をはじめ当番活動においては、自分の役割を確実にやり遂げる生徒が多い。

部活動は、ほとんどの生徒が運動部に所属し、一生懸命練習に励んでいる。事前のアンケートでは、くじけたり、あきらめてしまったことに、部活動に関する内容も多かった。

(3) 資料の活用について

本資料は、主人公の康雄、親友の誠を中心とした部活動(陸上競技)に関する話である。三年生の最後の大会の直前、主人公・康雄が練習中に左腿を痛めてしまう。大会三日前に練習を始めるがうまくいかず出場を辞退すると親友・誠に告げる。一度は練習を休み大会出場をあきらめる。誠からの手紙や陸上ノートを見て自分の心の弱さに気付き、大会に出場するが、転倒してしまう。あきらめずにゴールした康雄の心の中には涼風が吹いていたという話である。主人公の挫折やそれを克服する姿に共感させ、目標に向かって努力することの喜びや最後まで取り組むことの充実感を味わわせ、希望や勇気をもって着実にやり抜こうとする態度を育てたい。

3 ねらい

より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする態度を育てる。

4 他の教育活動等との関連

事前指導	帰りの会…アンケート調査（挫折してしまったことについて） アンケート調査（部活動の様子について）
部活動	生徒一人一人の部活動の参加の様子について情報を集める。
道徳の時間	資料名「心の涼風」 より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする態度を育てる。
事後指導	帰りの会…「私たちの道徳」 p 1 8 「理想通りにいかない現実もある」を読む。
家庭との連携	家庭訪問を生かし、粘り強く継続していることがあるか確認する。

5 学習指導過程

段階	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	●指導上の留意点 ☆評価の観点
導入	1 事前のアンケートから、クラスの状況を確認する。 ○「途中であきらめてしまったことがないか」についてのアンケート結果を見てみましょう。	・部活動のこと ・勉強のこと ・ゲームのこと	●本時の課題をもたせ、資料への関心を高める。 ●具体的に個人が特定されるものは避ける。 ●挫折の内容にはあまり深入りしない。 ☆資料への関心を高めることができたか。
展開	2 資料「心の涼風」の範読を聞き、心情が表れているところに線を引く。 ○資料の大要を知る。 ○資料の範読を聞く。 (8分) ○線を引いた場所を発表する。	登場人物 主人公：康雄 親友（ライバル）：誠 三年生最後の部活動の大会に向けての話。 主人公・康雄の行動から、「挫折」を克服し、何かをやり遂げようようとするのが自分にとってどんな意味があるのか考えましょう。	●感動したところ、印象に残ったところ、話し合ってみたいところを資料にサイドラインを引くことができるようにゆっくり範読する。 ●範読後少し間をおき、その間にサイドラインを引いているところを机間巡視しながら把握する。 ●同じところに線を引いた生徒に挙手させ、把握する。

展 開	<p>3 話題について話し合 う (内容を確認しながら 振り返る)</p> <p>*二人の目標は何か？ *けがをしてしまい治療 に専念。練習に参加でき たのはいつからか？ *調子よく走っている誠、 焦りを感じた康雄はど のように考えたか。</p> <p>*そんな時、1年生からの 親友で、よきライバルの 誠は何を言ったのか。</p> <p>*それに対して、主人公は 何と言ったのか？</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">① グランドを走り去る 主人公は、どんな気持 ちだっただろう。</div> <p>*次の日、主人公は練習 に出なかった。下駄箱 の靴を急いで履くとそ こに何があったのか *何て書いてあったのか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">② このときの主人公の 気持ちはどんな気持 ちだったのだろう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> • 自己最高記録 • 大会の3日前 • ハードル出場を辞退し、 100mに専念する。 • 「康雄はただうまくいか ない自分から逃げたい だけだろ。もう一度、 ちゃんと考えたほうが いいって！」 • 「何だよ。誠はハードル が得意だからそんなこ とが言えるんだよ。 • ふざけるな。人の気持 ちも知らないくせに。 • 練習がうまくいってい る奴に俺の気持ちなん てわからない。 • 練習したくてもできな くて悔しい。 • 仕方ないだろう • 誠からの手紙 • 康雄の気持ちも考えず にいろいろ言ってごめん。 でも、やっぱり俺はお前 と一緒に大会に出たい。 もう一度、ハードル頑張 って見ないか？ • 今さら遅い(誠に対する わだかまり) • 誠にすまない。ありがた い。(誠に対する感謝) • 一緒に出たいが自信がな い。(自分に対する不安) 	<p>☆登場人物に共感しようと しているか。また、発表 しようという気持ちにな っているか。</p> <p>●自分のことを考えてく いてくれる誠に対してすま ない気持ちや自分に結果 が出ず自信が持てないこ となど、揺れている心の 内を感じとらせる。</p>
--------	---	---	--

展 開	<p>*眠ってしまい、ふと目覚め、そばにあったノートは何のノートか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>③「康雄はノートを持つ手に自然と力が入るのを感じた」とあるが、このときの康雄の気持ちはどうだったのだろうか。</p> </div> <p>(補助発問) 康雄は、入部当時の記録が書いてあるノートを見てどんなことに気付いたのだろうか。 → 自分自身に負けるってどういうことか</p> <p>*こうして、110mハードルの大会に参加した。しかし、結果は転倒してしまう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>④すぐに起き上がった康雄の気持ちは、どうだったのだろうか。</p> </div> <p>(補助発問) たとえ、よい結果が出なくても何かをやり遂げることは、自分にとってどんな意味があるのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・陸上ノート ・入部当時の記録 ・もう一度、ハードルをやってみよう。 ・誠に謝ろう。頑張ろう。(康雄はやる気が湧いてきたんだね。) ・本当は自分自身に負けていたこと ・結果ばかりを気にしていたこと ・結果が悪いとかっこ悪いということ ・最後の大会だから走りきるぞ。 ・3年間のしめくりだ。 ・とにかくゴールするぞ。 ・みんなが待ってくれている。 ・自分に負けたくない。 ・意地。 ・無様な姿を見せたくない。 ・自分自身に自信が持てる。 ・満足感が持てる。 ・生活が充実する。 ・自分自身を成長させてくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●結果を気にするばかりに、自分自身に負けていたことを受け入れ、やる気を取り戻している主人公の気持ちを感じとらせる。 ●すぐに起き上がりやっとの思いでゴールした康雄の心情をとらえさせる。 ●感情を込めて演じさせる。 ●堂々演じてくれそうな生徒を指名する。 ●演じやすい雰囲気づくりに努める。 ●演技後は、拍手をおくる。 ●転倒してしまったが、逃げずにハードルで大会に出場できた喜びとともに最後まで取り組んだ充実感をとらえさせる。
--------	---	--	---

展 開	<p>4 この時間を通して感じたこと、考えたこと、特に心掛けていきたいことなどを記入させる。</p> <p>○今日の授業で考えたことを用紙に書いてみよう。</p>		<p>●ねらいに迫った考えを発表させる。</p> <p>☆より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする態度を育てることができたか。</p>
ま と め	<p>5 資料をとおして感じたことをもとに自己を見つめる。</p>		<p>○ゲストティーチャーの話聞き、自分の生き方を見つめさせる。</p>
<p>悪い結果でも、それには必ず意味があり、自分で乗り越えたことが自分自身を成長させてくれることを話したい。</p>			

6 評価の観点

- ・資料への関心を高めることができたか。
- ・話し合いの柱のねらいに迫ることができたか。
- ・より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする道徳的実践力を育てることができたか。

7 板書計画

アンケート結果など	切り返しの発問や補助発問で深まった考え	④ 康夫はどんな気持ちで誠達の方へ寄っていったのだろう。 切り返しの発問や補助発問で深まった考え	③ 「康夫はノートを持つ手に自然と力が入った」 切り返しの発問や補助発問で深まった考え	② 誠からの手紙を見たときの主人公の気持ち 場面絵など 切り返しの発問や補助発問で深まった考え	① グランドを走り去る主人公の気持ち 写真・絵 主人公・康雄 友人・誠 心の涼風
	・・・生徒の反応	・・・生徒の反応	・・・生徒の反応	・・・生徒の反応	

8 資料分析表

①資料名 「心の涼風」(出典 彩の国の道徳(中学校)自分を見つめて) 埼玉県教育員会)

②条件・状況

登場人物	主人公：康雄	友人：誠	陸上部顧問：中嶋先生
状況設定	<ul style="list-style-type: none"> ・康雄・誠 共に陸上部の3年生。最後の大会が近い。 ・2人は親友であるが、ライバルでもある。 ・110M ハードルを専門とする康雄は、誠にまだ1度も勝ったことがない。 ・最後の大会では、自己最高記録を目指そうと言いつけている。 ・ただ、康雄は、左腿に痛みがあり、気になっている。 ・顧問から、あせらずしっかり治して大会に臨もうと、医者診察を勧められた。 		

③支援の流れ

<話題につなげたい場面>

<キーワード>

<考えさせたい心の内>

・治療のために練習をしばらく休み、復帰したその日もうまくいかなかった。投げやりになる康雄に誠が、もう一度ちゃんとやろうと声をかける。康雄は、グラウンドを走り去っていく。



・心配してくれるのはありがたいが、どうしても焦りが出てしまう。
 ・全くうまくいかない。
 ・間に合うわけない。ハードルはもともと苦手。100m に専念しようかな。
 ・康雄は、ただうまくいかない自分から逃げたいだけだろう。
 ・勢いに任せてそう言う。



・焦りがありうまくいかない。でもしょうがない。
 ・長い間、部活を休んだのだからうまくはいかない。
 ・いつも負けている誠には言われたくない。ふざけるなどという怒りにも似た心情。
 ・言い訳ばかりと言われ、やっつけられるかという思い。

・次の日は、練習に出なかった。下足の中には、手紙が入っていたことに家で気付く。
 ・手紙を読んで、しばらくその場を動けなかった。



・ちくしょう、大会前なのに何をやっているんだ。俺は。でもなあ。
 ・康雄の気持ちも考えずにいろいろ言った。
 ・やっぱり俺はお前と一緒に大会に出たい。もう一度ハードルを頑張らないか。
 ・言いようのない複雑な気持ちが康雄をおそう。
 ・しばらくその場を動けなかった。



・誠の気持ちを受け入れられなかったことが悔しい。
 ・俺も誠と一緒に大会に出たい。
 ・誠にすまない。誠に対する感謝の気持ち。

- ・康雄は部屋で寝ころんだまま眠ってしまった。
- ・ふと目覚めて何気なく、陸上ノートを見た。
- ・康雄は、じっと考え込んだ。今度が最後の大会だ。



- ・最初は、ひどい記録だなあ。
- ・誠のことを意識しすぎた。
- ・伸びない記録にとらわれていた。
- ・本当は、自分自身に負けていたのではないか。
- ・今度の大会が最後か…。
- ・ノートを持つ手に自然と力が入るのを感じた。



- ・自分自身との勝負に負けたのではないかと感じている。
- ・最後の大会がこのままでいいのか。そんなはずはないだろう。もう1回、がんばるぞ。

- ・大会当日、110m ハードルのスタートラインに立っている。
- ・行ける。自己最高記録が出せるかもしれない。そう思ったとたんに転倒。
- ・康雄はすぐに起き上り、残りのハードルを必死にまたいでゴール。
- ・みんなが待っていると、ころに足を引きずりながら誠たちの輪に入っていく。



- ・今までの全てをかける。
- ・やり遂げることがまずは大切なんだ。
- ・行ける。自己最高記録が出せるかもしれない。康雄は、すぐに起き上り、残りのハードルを必死にまたぎ、やっとの思いでフィニッシュ。
- ・誠たちの輪に入っていく康雄の心の中には、涼風が吹いていた。



- ・今、すべてをかけるんだ。やり遂げることが大切なんだ。
- ・転倒し、もう記録は期待できない。それでも、最後までやり遂げるんだ。
- ・みんなの期待や心配にも応えたい。無様な姿は、見せないぞ。

④ねらいとする人間像 内容項目1－(2)強い意思

より高い目標を目指し、希望と勇気をもって着実にやり抜こうとする態度を育てる。